

1. 基礎の配筋

- 主筋はD10 以上を上下に配置する。
- あばら筋はD10 以上とし、主筋に 180°フックかぎ掛けとする。
- あばら筋の間隔は500mm以下とする。
- ベース筋はD10 以上とし、間隔は500mm以下とする。ベース筋の先端にはD10 以上の配力筋を配置する。

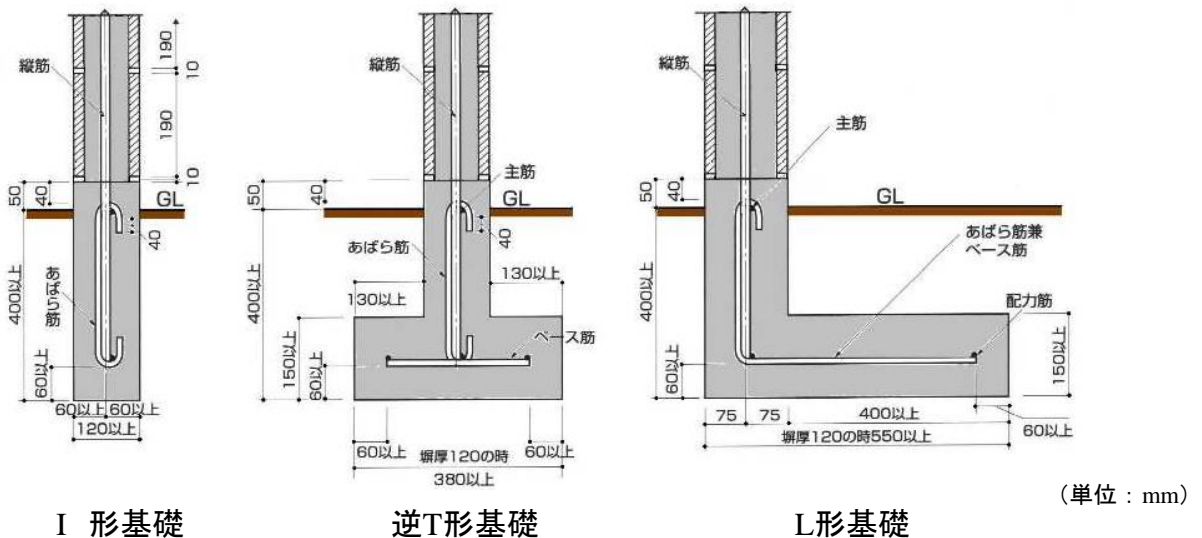
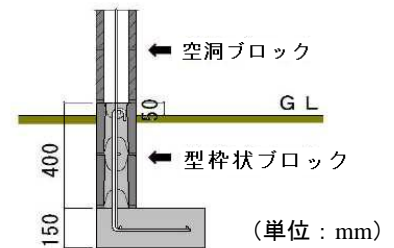


図 6 布基礎の配筋の一例

参考図：基礎立上り部分に型枠状ブロックを用いると、通常、空洞ブロックと外形寸法が同じであるので、重要な縦筋は型枠状ブロックにならって配置すれば、自動的にブロック塀壁体の適正な位置に配置されることになるのでこの工法の採用を推奨する



参考図(型枠ブロック造基礎)

1. 塀の施工

- 塀の施工は、02. 塀に関する基・規準等に示したように「建築工事標準仕様書 JASS7 メーソンリー工事」及び「壁式構造配筋指針」によって行う。

2. かぶり厚さ

- 鉄筋に対するコンクリート又はモルタルのかぶり厚さは、表7の数値以上とする。ブロック壁体のかぶり厚さの測り方は、図 7 による。